

農作物技術情報 第5号 野生獣対策

発行日 令和8年7月30日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ クマ人身被害防止 引き続きクマへの最大限の注意をお願いします。
- ◆ 侵入防止対策 防護柵の種類と特徴を確認し、設置しましょう。
- ◆ イノシシの特徴と対策 20、40、70 cmの3段を基本に電気柵を設置しましょう。

1 クマ人身被害防止

- ・ 例年に比べてクマの人里への出没が相次ぎ（図1）、死亡につながる人身事故が今年度に入って既に3件発生するなど（図2）、これまでにない危機的な状況となっています。
- ・ 今後もリスクが高い状況が続くことが見込まれますので、クマ出没状況アプリ「Bears」（図3）などにより出没状況を確認するとともに、これまではクマの出没がない地域においても、最大限の注意をお願いします。

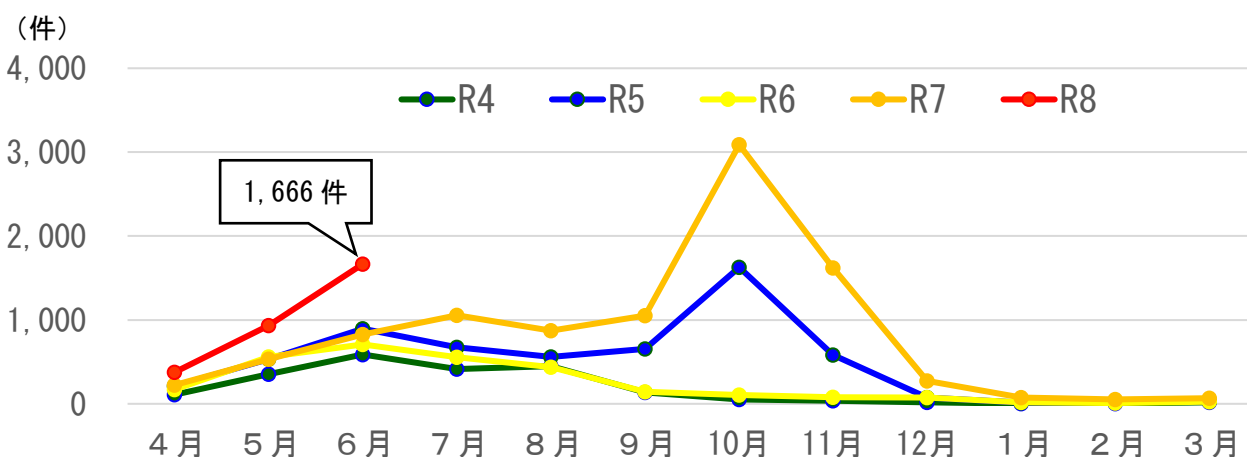


図1 クマの出没件数 (7/16 時点)

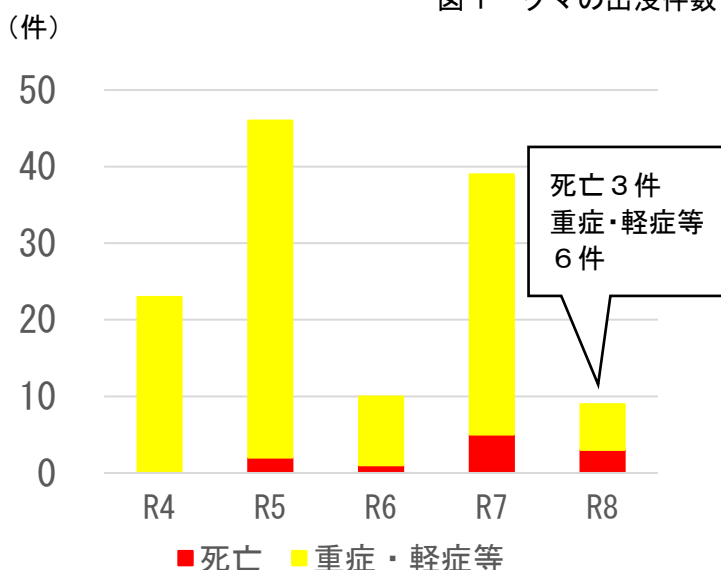


図2 クマによる人身被害 (7/24 時点)



図3 クマ出没情報アプリ「Bears」

こちらの2次元コードから登録できます！



2 侵入防止対策：シカ、イノシシ、クマ

※ 侵入防止対策「侵入防止対策の考え方」、「電気柵の特徴と使い方」は[農作物技術情報第4号](#)参照

(1) 防護柵の種類

- ・ 防護柵は、「物理柵」と「電気柵（心理柵）」の区分に分かれ（表1）、資材費や設置に係る労力などから、県内では「電気柵（心理柵）」が広く利用されています。
- ・ 物理柵は、正しく設置すればシカ、イノシシを防ぐことができますが、クマは登る（写真1）、又は金網などでも破って侵入する可能性があるため、獣種に応じた防護柵の選択が必要です。
- ・ バラ線の柵を用いる事例もありますが、バラ線では侵入を防ぐことはできません（写真2）。

表1 防護柵の種類

区分	種類	主な使用資材
物理柵	金属柵	ワイヤーメッシュ、金網、トタン
	非金属柵	ネット
電気柵 (心理柵)	簡易電気柵	ポリワイヤー、樹脂製等ポール、クリップ、パワーユニット
	恒久電気柵	高張力鋼線、単管パイプ、碍子、パワーユニット

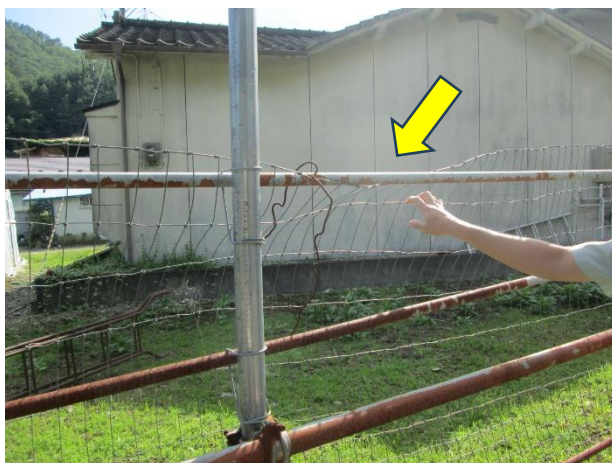


写真1 クマが登って曲がった金網柵



写真2 バラ線をくぐりぬけるシカ

(2) 簡易電気柵と恒久電気柵

- ・ 簡易電気柵と恒久電気柵は、設置や撤収に係る労力や冬期間の稼働の可否などが異なり、防護する作目やほ場の状況により選択します（表2、写真3、写真4）。

表2 簡易電気柵と恒久電気柵の特徴

種類	長所	短所	主な使用事例
簡易電気柵	・ 設置労力の負担が少 ・ 撤収が容易	・ 毎年設置と撤収が必要 ・ 冬期の稼働は不可 ・ 物理的な衝撃に弱い	・ 野菜など収穫期間が限られる作目 ・ 比較的面積が小さい作目
恒久電気柵	・ 支柱の撤収が不要 ・ 冬期も稼働が可能※ ・ 物理的な衝撃に強い	・ 設置労力の負担が多 ・ 一度設置すると移動、撤収は難しい	・ 冬期も稼働が必要なりんごなどの果樹 ・ 地域ぐるみでの長距離の防護柵

※ 漏電対策のため、雪に埋まる電線は外すなどの対応が必要

注) 平地の場合、支柱の間隔を広げ支柱本数を減らせるため、恒久電気柵と簡易電気柵のコストは同程度。農地に凹凸がある場合は、支柱を追加し、ワイヤーの高さを一定に調整する。

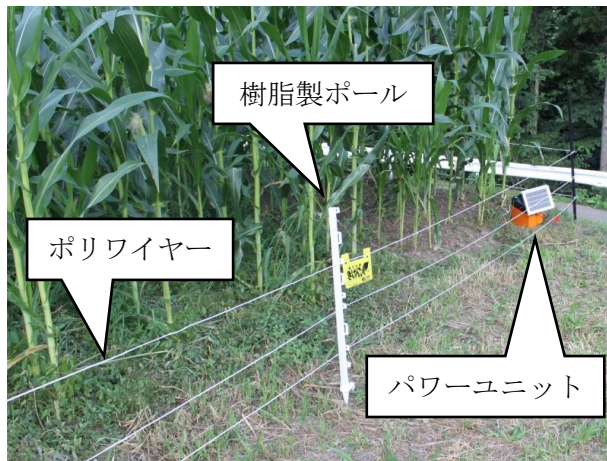


写真3 簡易電気柵



写真4 恒久電気柵

(3) 緊張具によるワイヤーの調整

- ・ 簡易電気柵、恒久電気柵ともに、ワイヤーに適切なテンション（張力）をかける必要があるため、緊張具を用いテンションを調整します（写真5、6）。
- ・ テンションがかかることで、物理的にも侵入が難しくなるとともに、野生獣がワイヤーに触れた際には、よりワイヤーに鼻などを圧着できるため電気柵の効果が高まると考えられます。
- ・ また、緊張具の使用により、角の支柱にはより大きな負担がかかるため、**太い支柱**を使う、または**補強**を入れる（写真7）などの対策をとります。



写真5 簡易電気柵の簡易緊張具

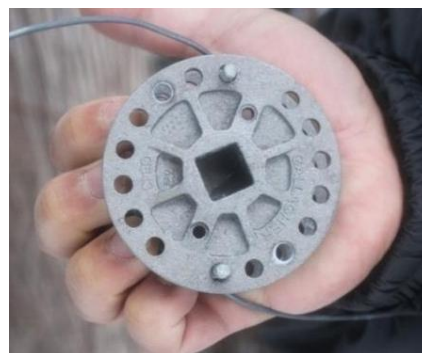


写真6 恒久電気柵の緊張具



写真7 角支柱の補強

3 野生獣の特徴と対策：イノシシ

(1) 被害の現状

- ・ イノシシによる農作物被害面積及び被害金額は、年度により増減がありますが、近年は、被害面積が50ha前後、被害金額が5千万円前後で推移しています（図4）。
- ・ 令和6年度の品目別の被害金額は、**稲、いも類、野菜の順**となっています（図5）。
- ・ シカ、クマなどと異なり、農作物の被害のほかに、農地の掘り起し、水田畦畔や水路を崩すなど、**農業基盤への被害も大きい**ことが問題となっています。



写真8 ほ場に侵入したイノシシ

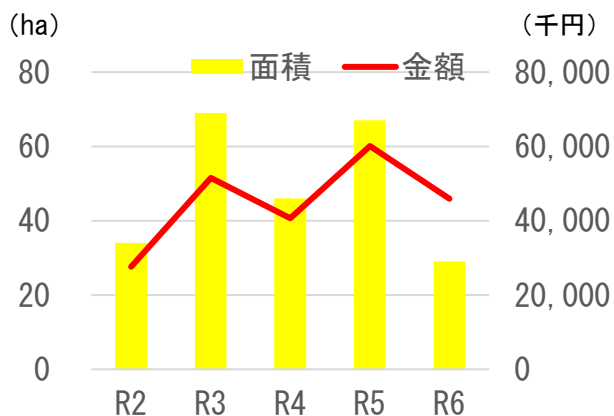


図4 イノシシによる被害面積及び金額の推移

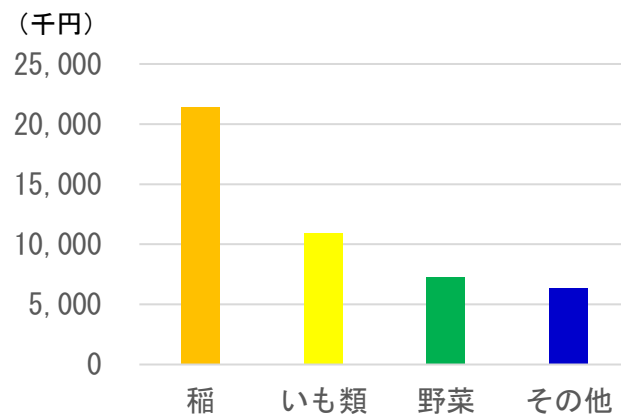


図5 イノシシによる上位3品目被害金額 (R6)

(2) 生態

食性	主に植物を中心とした雑食性。
繁殖	年1回、4～5頭出産。繁殖力が高い。 ただし、初期死亡率が高く、平均年齢は1歳前後。
群れ構成	血縁関係のある母系集団を形成。オス成獣は単独行動。
行動域	決まった行動域を持つ (約1km ² 程度)。縄張りは持たない。

(3) 対策

- シカなどと同様に、藪を刈り払うなどの「生息環境管理 (よせつけない)」を行うとともに、電気柵による「侵入防止対策 (まもる)」を行います。
- イノシシのみであれば、ワイヤーメッシュなどの物理柵でも防ぐことができますが、本県の場合はクマの侵入の可能性があるほか、防護設備の設置距離が長くなる作目が多いため、電気柵が有効です。
- 段数は、岩手県の場合はクマの侵入のリスクがあるため、「20、40、70 cm」の3段を基本とします (写真9、10)。
- 「捕獲 (とる)」の対策では成獣の捕獲が重要です。子どものウリボウを数頭捕獲したとしても、残った子どもが成獣となって加害するため、被害は減りません (写真8、11)。
- また、残ったイノシシはワナが危険であることを学習し、その後は捕獲が難しくなることがあるので注意が必要です。
- そのため、まずは警戒心が強いイノシシの特徴を考慮し、藪の刈り払いなどで見通しを良くするとともに、イノシシが侵入しないよう、農作物を電気柵でしっかり囲うことが重要です。



写真9 子実用とうもろこしに設置された3段の簡易電気柵

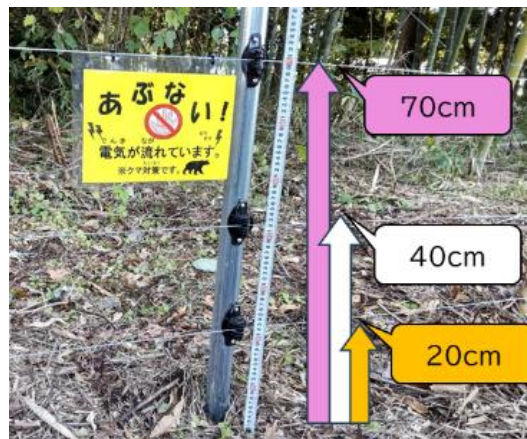


写真10 クマ・イノシシ用の電気柵「20、40、70 cm」の3段



写真 11 イノシシによる子実用とうもろこしの被害（電気柵未設置）

ツキノワグマの出没に関する警報

県は、ツキノワグマの出没に関する一層の注意を促し、更なる被害の防止を図るため、県内全域に「ツキノワグマの出没に関する警報」を発表します。県民の皆さんにはツキノワグマの被害を防止するため、一層の注意をお願いします。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/shizen/yasei/1049881/1043255.html>

- 1 クマに遭遇しないために
 - ・ 事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認する。
 - ・ 音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピールする。
- 2 クマを寄せ付けない
 - ・ 食べ残し等、エサになるものを放置しない
 - ・ 農地周辺のやぶを刈り払い、見通しの良い環境を整備する。
- 3 出会ったときの行動
 - ・ 背を向けて走って逃げない
 - ・ 目を離さず静かにゆっくり後ずさる
- 4 襲われそうになったら...
 - ・ クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

次号は8月27日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用ください。

熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。